

●「第24回ヨーロッパ・キリスト者の集い」(ミラノ) ●Make Us One

8月1日～5日、イタリアのミラノで行われた「第24回キリスト者の集い」に行っていました。

250名の参加者が共に十字架を見上げ、すべてのプログラムが、主を拝させていただく実に素晴らしい集会となりました。プログラムごとに人々の心が砕かれ、癒され、日ごとにイエス様の愛が溢れてゆくを感じました。集会の間中、主の大きなご臨在に触れ、主ご自身が栄光を現して下さることに感動を覚えました。この集会から、絶大なる霊的励ましをいただいて、ハンブルクに戻りました。今日は、皆さんに、その報告と、私が受けた恵みをお分かちさせていただきます。



「第24回ヨーロッパ・キリスト者の集い」(ミラノ)

集会では、「十字架のもとに」のテーマのもと、11人の講師が真実で素晴らしいメッセージを語ってくださいました。メッセージの後は、スモール・グループに別れて、分かち合いの時間が持たれました。午後には、「スモール・グループ」セミナーと、宣教セミナーが持たれました。キリストの十字架によって救われた者たちの交わりと、そこから外へ向かって主を宣べ伝える宣教の働きについてのセミナーは、朝夕に語られるメッセージを、実生活に具象化する実践セミナーでありました。

そのプログラムで主が語ってくださったひとことひとことが、たくさんの美しい真珠の粒となって私の心に残りました。日ごとにその真珠の粒がつながり、十字架のペンダントに形作られてゆくを感じました。そして、そのペンダントをいつも胸に飾って歩いてゆこうと思いました。写真右:最終日の集合写真

●Make Us One

今回、私は12名の賛美隊の一員として、すべてのプログラムで賛美リードの奉仕をさせていただきました。そこで受けた恵みと祝福の大きさに、ことばに尽くせないほど感謝しています。賛美隊は賛美奉仕だけでなく、ひとつのスモール・グループとして、互いに分かち合い、祈り合う時を持ちました。そのような交わりを通して、私たちの内側には仕える喜びが溢れるようになりました。そして、曲の準備と音合わせが十分でなかったにもかかわらず、



集会では、主ご自身が賛美を導いてくださいました。

今回のテーマソングは、Make Us One。この歌をもって主に願い求めた通り、主は、十字架から溢れ出る愛を私たちに注ぎ、御霊にあってひとつとしてくださったのです。

Make us one Lord 主よ、私たちを一つにしてください
Make us one 私たちを一つにしてください
Holy Spirit, make us one み霊よ、私たちを一つにしてください
Let Your love flow あなたの愛で満たしてください
So the world will know そうすれば世は知るでしょう
We are one in You 私たちがあなたにあって一つであることを

写真:賛美隊の皆さんと。

私たちが着ているシャツは、ミラノの朴有里さん(今回の集会の実行委員長)が Make us one の歌詞を入れてデザインした、「キリスト者の集い」特別限定販売 T シャツ

●帰りの飛行機からの光景

修養会の後、夕方の便でミラノからハンブルクへ向かいました。私は普段通路席をお願いするのですが、この日にかぎって、何故か窓側の席をお願いしていました。しかし、それは、主が私に息を呑むような光景を見せてくださるためだったと後で判りました。

飛行機が飛び立って間もなく、窓から外を見ると、ロンバルディア平野の上空には、帯状の真っ黒な雲が、不気味に横に伸びていました。まるで、終末の暗黒を暗示しているかのようでした。しかし、その帯の真ん中の背後から、明るく輝く夕日が黒雲の上下に光りを放ち、何と、平野の上には、真っ赤な夕日を映し出しているではありませんか！そして、黒雲の帯は飛行機が進むごとに細くなり、太陽の頭が少しずつ姿を現して、その輝きは、くっきりと上から下にかけて平野に写る赤い夕日を縦のラインでつないだのです！

「ああ、十字架だ！」と、まぶしいのも忘れてその光景を見つめました。まわりの空は、淡い夕暮れ色に染まっていました。

聖書には、終末には復興ローマ帝国が台頭すると預言されています。霊的暗闇が立ちこめる時です。しかし、かつてローマ帝国が栄えた時に、神は光なる御子イエスを地に送って十字架につけ、世に救いをもたらしてくださったように、今この時に、この地に、



真っ赤な十字架のたいまつを赤々と燃やしながらか、「ここに救いがある、ここに目を向けなさい、ここに来なさい」、とおっしゃってくださっている！

そうだ、私も、胸には真珠の十字架ペンダント、右手には十字架の赤いたいまつを高く掲げて、十字架の救いを、声を大にして宣べ伝えてゆこう！ そう思ったら、私の内側で、宣教への思いがゴーゴーと音を立てて燃え立ってくるのを感じました。そして「神様、どうかこの炎を消さないで！」と祈ったら、「いつも十字架を見上げていなさい」という主のみ声が心に響きました。

写真右:「キリスト者の集い」の二日目に、ミラノ日本語集会の内村宣教師の感動的な牧師就任式が行われました。(♪「十字架を負うか」と主が問うときに、「死ぬまで歩む」とわれは答えた。わがこころ主にありて、主のすがた、成らせよ 一韓日賛頌歌 519 番「十字架を負うかと」より)

●ブラジル

13日からいよいよブラジルです。予定は以下の通りですので、どうぞひとつひとつのコンサートのために、何よりも、ブラジル在住日系人、ブラジル人の救いのためにお祈りください！ コンサートを企画して下さるブラジル日系教会に皆さんも、切なる祈りを重ねながら準備をしてくださっています。

- 8月17日(金) オザスコ市立劇場、サンパウロ市から西へ20km。
- 8月19日(日) クリチーバ市立劇場、サンパウロ市から南へ450km。
- 8月24日(金) サンジョゼー市立劇場、サンパウロ市から東へ100km。
- 8月26日(日) サント andre市立劇場、サンパウロ市から南東に50km。
- 8月31日(金) アリアンサ弓場農場劇場、サンパウロから西へ650km。
- 9月 2日(日) サンパウロ日本文化協会劇場、サンパウロ市の中心部。

少し間が空きますが、今回は、ブラジルのコンサート後、日本からメルマガをお送りさせていただく予定です。

今月も、それぞれの地で、互いに励まし合いながら、救いのしるしである十字架を高く掲げつつ歩んでまいりましょう！

暑さの中にいらっしゃる皆様にはご健康が守られますようにと祈ります。

皆様の祝福を心から祈っています。

工藤篤子

P.S.

メルマガに写真を提供してくださっているスイスの松林幸二郎さん撮影の「キリスト者の集い」の写真

が、以下からご覧になれます。

http://photos.yahoo.co.jp/ph/obiokononiyaki/lst?.dir=/